

200/300 シリーズでマッピングするホストの設定はスイッチを管理しました

目標

ホスト マッピング することがドメイン名に特定の IP アドレスを割り当てるのに使用されています。、割り当てられる静的IP アドレスを使ってドメイン ネーム システム (DNS) のエントリのスイッチ最初にマッピングして いて ホストが外観スイッチの全体的なパフォーマンスを向上する。また、ホストとマッピング することは静的IP アドレスにネットワークの異なるユーザー向けに見つけることこのデバイスを容易にさせるためにネットワークの特定のデバイスをマッピング することができます。

この記事は 200/300 シリーズによって管理されるスイッチでマッピング する ホストの設定を説明します。

適当なデバイス

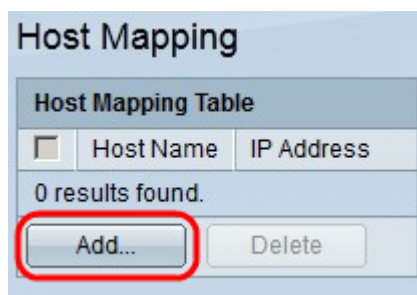
- SF/SG 200 および SF/SG 300 シリーズによって管理されるスイッチ

[Software Version]

- v1.2.7.76

設定をマッピング する ホスト

ステップ 1. Web コンフィギュレーションユーティリティへのログインは IPコンフィギュレーションを > ドメイン ネーム システム (DNS) > ホスト マッピング すること選択し。ページをマッピング しているが、ホストは開きます:



ステップ 2. 『Add』 をクリックして下さい。ウィンドウをマッピング する追加ホストは現われます。

IP Version: Version 6 Version 4

IPv6 Address Type: Link Local Global

Link Local Interface:

Host Name:

IP Address:

IP Address 2:

IP Address 3:

IP Address 4:

Apply Close

ステップ 3 IPバージョン フィールドで、マッピング することを望むホストの IPバージョン をクリックして下さい。 利用可能な オプションは次のとおりです:

- バージョン 6 — IPv6 アドレスを入力することを許可します。 このオプションを選択する場合、ステップ 4.に進んで下さい。
- バージョン 4 — IPv4 アドレスを入力することを許可します。 このオプションを選択する場合、ステップ 6.にスキップして下さい。

注: IPv6 Radio ボタンは IPv6 アドレスがスイッチで設定されるときだけ利用できます。

ステップ 4 ステップ 3 の IP アドレス バージョンとしてバージョン 6 を選択した場合、IPv6 アドレス タイプ フィールドで、IPv6 アドレスの種類をクリックして下さい。 利用可能な オプションは次のとおりです:

- リンク ローカル— IPv6 アドレス 単一のネットワーク リンクのホストだけを識別する。 このオプションを選択する場合、ステップ 5.に進んで下さい。
- グローバル— IPv6 アドレス他のネットワークから到達可能である。 このオプションを選択する場合、ステップ 6.にスキップして下さい。

ステップ 5 ステップ 4 の IPv6 アドレス タイプが、リンク ローカルインターフェイス ドロップダウン リストで、適切なインターフェイスを選択するようにリンク ローカルを選択したら。

ステップ 6. Host Name フィールドのマッピング された ホストを識別する名前を入力して下さい。

ステップ 7. IP address フィールドでマッピング された ホストの IP アドレスを入力して下さい。

注: IP アドレス バージョンとして IPv6 を選択した場合、4 IPv6 アドレスに集計することができます。

ステップ 8.設定を保存するために『Apply』 をクリックして下さい。

Host Mapping

Host Mapping Table		
<input type="checkbox"/>	Host Name	IP Address
<input type="checkbox"/>	hostname1	192.168.10.10

ホスト マッピングテーブルのエントリを削除するステップ 9. (オプションの) は削除し、『Delete』 をクリックしたいと思うエントリのチェックボックスをチェックします。